

茨城県景気ウォッチャー調査結果 (平成18年9月調査分)

調査の目的

- ・経済の第一線で働いている人々から、景気に関する生の情報を得ます。
- ・その景気に関する生の情報を地域ごとに把握するとともに、迅速に公表します。
- ・県や市町村のきめ細かな施策立案や経済界におけるタイムリーな景気判断の基礎資料となります。

調査の概要

- ・調査客体数…県内各地域（県北、県央、鹿行、県南、県西）ごとに60名、計300名です。
- ・調査内容…景気の現状、先行き判断とその判断理由を質問します。
- ・調査時期…四半期（6、9、12、3月）ごとに実施し、翌月公表します。

結果の概要（回答率95.0%）

景気現状判断 DI	景気先行き判断 DI	※ DI (Diffusion Index) 景気動向を判断するために使用される指標の一つであり、景気の方向性（景気が上向きか下向きか）をみるもので、50が横這いを表しています。茨城県景気ウォッチャー調査では、回答を区分ごとに点数であらわし、その点数を回答構成比(%)で乗じてDIを算出しています。
県全体 52.0 (-0.2)	県全体 53.7 (+1.1)	
県北地域 49.1 (-0.1)	県北地域 54.4 (+0.6)	
県央地域 56.0 (+3.8)	県央地域 53.0 (+1.2)	
鹿行地域 53.1 (-2.8)	鹿行地域 49.6 (-3.4)	
県南地域 52.6 (+0.5)	県南地域 60.1 (+3.3)	
県西地域 49.1 (-2.6)	県西地域 51.3 (+3.4)	

※()は前回調査(平成18年6月)との比較をしたものです。

- 3か月前と比較した景気の現状判断 DI は、前期(6月調査)比0.2ポイント低下の**52.0**となったものの、**横這いを表す50を平成17年12月調査以来4期連続で上回りました。**

「家計動向関連 DI」は前期比1.6ポイント低下したものの、個人消費の堅調さを反映して、ギフト商品や高額商品の売行きが好調であったことなどから4期連続で50を上回った。「企業動向関連 DI」は前期比4.5ポイント上昇し、2期ぶりに50を上回った。これは、住宅及びマンション建設が活発であることなどから、非製造業が前期比6.0ポイント上昇したことに加え、製造業も引き続き原油価格高騰による原材料高の影響が見られるものの、受注・売上げが好調なことから2期ぶりに50を上回ったことによる。また、「雇用関連 DI」は前期比6.0ポイント低下となったものの、求人数が増加していることから13期連続で50を上回っており、改善基調が続いている。

〈主な判断理由〉

- ・客単価及び売上げが上昇しており、ギフト商品、高額商品の伸びも良い。(スーパー)
- ・ファンドマネーにより駅周辺にマンションが建設されている。(サービス業〔コンサルタント業〕)
- ・ナフサの値上がりはあるものの、販売量が増加しており良い方向である。(製造業〔化学工業〕)
- ・6月はタバコ税増税により駆け込み需要があったが、7月以降はタバコの売上げが落ちている。また、平年より気温が低かったため、冷たい麺類やドリンクの売上げが落ちている。(コンビニエンスストア)
- ・製造業関係や小売業において求人数が増加している。(公共職業安定所)

- 3か月前の景気の先行き判断 DI は、前期(6月調査)比1.1ポイント上昇の**53.7**となり、**横這いを表す50を平成17年9月調査以来5期連続で上回りました。**

「家計動向関連 DI」は年末需要への期待感などから前期比2.1ポイント上昇し、3期連続で50を上回った。「企業動向関連 DI」は原材料価格の高止まりへの懸念から前期比1.4ポイント低下したものの、好調な企業業績を反映し、5期連続で50を上回った。また、「雇用関連 DI」は先行きも求人数の増加が見込まれることから前期比2.0ポイント上昇し、7期連続で50を上回っている。

〈主な判断理由〉

- ・原油価格の高騰が懸念されるものの、景気が悪いという声が少なくなっており、少しずつ良くなっていると思われる。(製造業〔電気機械器具〕)
- ・原油価格の高騰による交通費の値上がりの影響を強く受けられる。(レジャー施設)
- ・当面、鉄鋼業及び素材メーカーでは繁忙な状況が続くと見られる。また、大手企業の設備投資も旺盛である。(人材派遣業)
- ・原材料費は高止まりであり、10月以降のコストダウン要請もあるため、生産価格はインフレで販売価格はデフレの状況が続くと思われる。(製造業〔非鉄金属〕)
- ・忘年会や新年会の時期に入るが、今年は企業の業績も良いようなのでかなり期待している。(和食レストラン・割烹)

地域別の動向

地域別の現状判断 DI は、**県北及び県西を除く 3 地域で横這いを表す 50 を上回りました。**

地域別の先行き判断 DI は、**鹿行を除く 4 地域で横這いを表す 50 を上回りました。**

1 県北地域

- (1) **現状判断**：景気の現状判断 DI は**49.1**となりました。前期比0.1ポイント低下し、**横這いを表す 50 を 3 期連続で上回りました。**業種別にみると、企業動向関連 DI は上昇しましたが、家計動向関連 DI 及び雇用関連 DI は低下しました。

〈主な判断理由〉

- ・営業での受注物件が増加し、自社工場内では消化しきれなくなっているが、協力工場に依頼しても断られる状況である。(製造業〔電気機械器具〕)
- ・手作り弁当やコンビニ袋を持ち込んで飲食する客が増えたため、客単価が減少している。(レジャー施設)

- (2) **先行き判断**：景気の先行き判断 DI は**54.4**となりました。前期比0.6ポイント上昇し、**横這いを表す 50 を 3 期連続で上回りました。**業種別にみると、雇用関連 DI は上昇しましたが、企業動向関連 DI は横這い、家計動向関連 DI は低下しました。

〈主な判断理由〉

- ・例年、秋から売上げが増加する傾向にあるが、今年は資材、燃料、ガソリン価格が高止まりしており、あまり期待はできない。(製造業〔食料品〕)
- ・買物客の郊外大型店へのシフトは、今後益々広がっていくと思われ、商店街の個人商店は立ち行かなくなると思われる。(商店街代表者)

2 県央地域

- (1) **現状判断**：景気の現状判断 DI は**56.0**となりました。前期比3.8ポイント上昇し、**横這いを表す 50 を 4 期連続で上回りました。**また、**現状判断 DI は全県を通じて最高となりました。**業種別にみると、家計動向関連 DI 及び企業動向関連 DI は上昇しましたが、雇用関連 DI は低下しました。

〈主な判断理由〉

- ・流行品やグレードの高い商品の売行きが好調になってきており、客単価も僅かながら上昇している。(百貨店)
- ・前年比で出荷台数が約1.5倍になる商品があるなど、売上げも前年比で数百万円ほど増加している。
製造業〔精密機械器具〕

- (2) **先行き判断**：景気の先行き判断 DI は**53.0**となりました。前期比1.2ポイント上昇し、**横這いを表す 50 を 7 期連続で上回りました。**業種別にみると、家計動向関連 DI は上昇しましたが、雇用関連 DI は横這い、企業動向関連 DI は低下しました。

〈主な判断理由〉

- ・忘年会などの宴会や歳暮などの買物の客が増えて活気がでてくる。(タクシー運転手)
- ・原油価格の高騰が原材料費に反映し景況は悪化していると思われる。(製造業〔食料品〕)

3 鹿行地域

- (1) **現状判断**：景気の現状判断 DI は**53.1**となりました。前期比2.8ポイント低下したものの、**横這いを表す 50 を 4 期連続で上回りました。**業種別にみると、企業動向関連 DI は上昇しましたが、家計動向関連 DI 及び雇用関連 DI は低下しました。

〈主な判断理由〉

- ・東京、埼玉などからの移住者が増加しており、建築が盛んになっている。(建設業)
- ・8月からの天候不順の影響により、売上げが前年を下回っている。(コンビニエンスストア)

- (2) **先行き判断**：景気の先行き判断 DI は**49.6**となりました。前期比3.4ポイント低下し、**横這いを表す 50 を 7 期ぶりに下回りました。**また、**先行き判断 DI は全県を通じて最低となりました。**業種別にみると、家計動向関連、企業動向関連及び雇用関連の全ての DI が低下しました。

〈主な判断理由〉

- ・燃料価格が高騰しており、光熱費が高む冬に向けて消費の拡大は期待できない。(ドライブイン)
- ・今後の原油動向では、物流関係を始めとてかなりのコストアップが予想される。しかし、中小のユーザーでは価格転嫁は遅れ気味になるのではないか。(製造業〔化学工業〕)

■調査から

4 県南地域

- (1) **現状判断**：景気の現状判断 DI は**52.6**となりました。前期比0.5ポイント上昇し、**横這いを表す50を5期連続で上回りました**。業種別にみると、家計動向関連 DI 及び企業動向関連 DI は上昇しましたが、雇用関連 DI は低下しました。

＜主な判断理由＞

- ・お盆期間を含め、昨年を大きく上回る売上げを達成することができた。客数・客単価も伸びている。ギフト商品の売上げも順調に伸ばすことができ、景気が良くなっていることがうかがえる。(スーパー)
- ・原材料費は高止まり傾向にはあるものの、民間からの受注が増加してきている。(製造業〔窯業・土石製品〕)

- (2) **先行き判断**：景気の先行き判断 DI は**60.1**となりました。前期比3.3ポイント上昇し、**横這いを表す50を5期連続で上回りました**。また、**先行き判断 DI は全県を通じて最高となりました**。業種別にみると、家計動向関連 DI は上昇しましたが、雇用関連 DI は横這い、企業動向関連 DI は低下しました。

＜主な判断理由＞

- ・新築マンションの建設ラッシュが続いており、入居者が増加すれば消費に繋がると思われる。(家電販売店)
- ・雇用環境は良いが、正社員とパート・契約社員との賃金格差は続くと思われる。(雇用相談員)

5 県西地域

- (1) **現状判断**：景気の現状判断 DI は**49.1**となりました。前期比2.6ポイント低下し、**横這いを表す50を5期ぶりに下回りました**。また、**現状判断 DI は全県を通じて最低となりました**。業種別にみると、雇用関連 DI は上昇しましたが、家計動向関連 DI 及び企業動向関連 DI は低下しました。

＜主な判断理由＞

- ・天候不順に加え、ガソリン・灯油・生鮮食料品などの値上がりにより経費が増大し、経営が圧迫されている。(都市型ホテル)
- ・原油価格の高騰により材料費が値上げされているが、受注金額は競争が激しいため低下している。(建設業)

- (2) **先行き判断**：先行き判断 DI は**51.3**となりました。前期比3.4ポイント上昇し、**横這いを表す50を2期ぶりに上回りました**。業種別にみると、家計動向関連、企業動向関連及び雇用関連の全ての DI が上昇しました。

＜主な判断理由＞

- ・ガソリン価格が低下すれば、利用客も更に増加し商品購入客も増えてくると思われる。(ドライブイン)
- ・増産のための設備投資や工場増設の話を耳にする。(学校就業関係者)

